

2市協議に係る市民啓発・広報について

2市協議会の取組の背景、課題認識及び取組経過の周知のほか、市民意見の把握を目的とした取組を実施した。

1 講演会の開催

【日 時】①7月18日(月・祝) ②8月13日(土)

【場 所】①小田原市民会館小ホール ②南足柄市文化会館小ホール

【講演者】①中央大学大学院教授 佐々木信夫 氏

②首都大学東京大学院教授 大杉覚 氏

【内 容】・開催地市長による協議の趣旨説明「中心市の課題と2市協議について」

・講演「今こそ考える合併・中核市・広域連携」

・質疑応答

・参加者アンケート

【参加者】①170人 ②205人

2 市広報紙での周知

両市の広報紙(7月1日号)に現状の取組等の情報を掲載。

3 アンケートの実施

2市協議会の運営や新市まちづくり計画策定の参考資料とすることを目的としたアンケートを実施。

【対 象】無作為抽出された両市民3,600人

【調査内容】2市の取組及び検討内容の周知度、合併した場合のまちづくりに求めるもの等

【時 期】7月1日発送、7月20日到着分までを集計

【集計結果】参考資料3-1のとおり

4 説明会の開催

【時 期】①6月29・30・~~31~~^{7月1日}

②8月17・19・22・24・25・29・31日(予定)

【対 象】①小田原市自治会総連合ブロック会議出席者(市内単位自治会長)

②南足柄市市政懇談会出席者

5 その他

ホームページでの周知、チラシ(参考資料3-2のとおり)の作成・配布等

小田原市・南足柄市の将来のあり方に関するアンケート結果の概要

実施目的	2市協議会の運営や新市まちづくり計画の参考とするため、2市協議会の取組及び検討内容の周知度、合併した場合のまちづくりに求めるもの等について、両市民の意見やニーズを把握することを目的として実施
調査方法	平成28年4月1日時点で住民登録がある市民のうち、平成28年6月1日現在で居住する18歳以上の者から、地区別、年齢階層別に抽出した3,600人（内訳 小田原市：2,372人、南足柄市：1,228人）に郵送により配布・回収
調査期間	平成28年7月1日～7月15日
回答状況	1,263人（有効回答者数 小田原市767人 南足柄市473人 居住地域未回答23人） 35.08%（回収率）

主な調査結果

問1 回答者の基本情報

性別	男性：39.59%	女性：45.21%	性別未回答：15.20%
年齢	18～29歳：5.70%	30～39歳：10.69%	40～49歳：13.38%
	50～59歳：15.76%	60～69歳：22.72%	70～79歳：19.87%
	80歳以上：10.14%	年齢未回答：1.74%	
居住地域	小田原市：60.73%	南足柄市：37.45%	居住地域未回答：1.82%
居住年数	5年未満：4.51%	5年以上10年未満：6.41%	
	10年以上20年未満：12.59%	20年以上30年未満：14.57%	
	30年以上：59.94%	居住年数未回答：1.98%	

問2 2市協議会の設置をどのように知りましたか

1	新聞やタウン紙などの報道で知った	25.02% ②
2	市のホームページで知った	1.99%
3	市が発行する広報紙で知った	19.48% ③
4	家族や知り合いから聞いて知った	9.59%
5	このアンケートで初めて知った	41.65% ①
6	その他の方法で知った	1.42%
※	未回答	0.85%

問3 「合併」「中核市移行」「広域連携」について検討協議することについてどう思いますか

1	必要である	41.01% ①
2	どちらかといえば必要である	32.22% ②
3	どちらかといえば必要ない	5.30%
4	必要ない	4.99%
5	わからない	14.97% ③
※	未回答	1.51%

問4 今後どのような情報がほしいですか

1	2市それぞれが進めているまちづくりの方針	13.28%	④
2	2市それぞれの財政状況と見通し	15.36%	②
3	周辺自治体の財政状況と見通し	2.25%	
4	合併した場合の市民の負担（税・使用料等）や各種サービスの水準	35.72%	①
5	合併した場合の行政改革の効果	13.57%	③
6	合併した先行自治体の状況	2.33%	
7	中核市に移行した場合の効果と課題	10.30%	⑤
8	中核市など大都市制度のしくみ	1.27%	
9	広域連携のしくみ	1.59%	
10	2市の広域連携の取組の現状	2.21%	
11	広域連携の他自治体の事例	0.86%	
12	その他	0.73%	
※	未回答	0.53%	

問5 どのような方法なら情報を得やすいですか

1	市のホームページ	10.37%	③
2	市のフェイスブックやツイッターなどのSNS	3.12%	
3	タウン紙などの地域情報誌	25.99%	②
4	市が発行する広報紙	37.96%	①
5	2市協議会が発行する協議会だより	9.50%	
6	市民説明会や報告会	2.99%	
7	新聞・テレビ・ラジオ	8.55%	
8	その他	1.04%	
※	未回答	0.48%	

問6 合併により期待できる効果は何だと思えますか

1	利用できる窓口や公共施設が増え、便利になる	14.69%	③
2	行政サービス水準が向上する	10.20%	
3	大規模事業などが計画的に実施される	10.50%	
4	地域のイメージアップが図られる	3.48%	
5	広域的視点から効果的なまちづくりが推進される	14.94%	②
6	行政の効率化や経費が削減される	23.67%	①
7	期待できる効果はない	7.72%	
8	わからない	12.47%	
9	その他	1.72%	
※	未回答	0.61%	

問7 合併に対して不安に思うことは何ですか

1	中心部（市街地）と周辺部のまちづくりに格差が生じる	15.72%④
2	市民の声（要望など）が行政に届きにくくなる	10.42%
3	地名の変更により、さまざまな手続きが必要になる	18.37%②
4	地域の歴史や文化・伝統が薄れる	4.64%
5	公共料金が値上がりする、または行政サービス水準が低下する	21.12%①
6	行政の効率化が進まず、財政状況が悪化する	16.38%③
7	不安はない	3.88%
8	わからない	6.91%
9	その他	2.04%
※	未回答	0.52%

問8 合併した場合どのようなまちづくりに取り組んでほしいと思いますか

1	地域福祉を推進し、高齢者福祉や障がい者福祉が充実したまちづくり	17.33%①
2	健康づくりの推進と地域医療体制が充実したまちづくり	10.04%⑥
3	多様な文化や人権を尊重し、共に支えあうまちづくり	2.65%
4	防災・消防・救急体制の充実したまちづくり	11.44%③
5	交通安全活動や防犯活動が充実した安全・安心なまちづくり	4.26%
6	安心して子育てができる環境が整ったまちづくり	11.02%④
7	学校、家庭、地域が共に支えあい学校教育が充実したまちづくり	4.70%
8	地域の産業が活発な働きやすいまちづくり	11.79%②
9	地域資源の魅力を生かした観光を推進するまちづくり	4.26%
10	歴史・文化・芸術を大切にされた文化活動やスポーツが盛んなまちづくり	3.93%
11	道路などの交通環境や上下水道、公園、景観など良好な生活環境が整ったまちづくり	10.48%⑤
12	環境保護を推進し、人と自然が共生するまちづくり	5.24%
13	地域活動や住民参加が活発なまちづくり	1.70%
※	未回答	1.16%

問9 将来の2市のあり方に関する自由意見等（回答者：588人 述べ922件）

1. 合併に関する意見 138件
- 合併に肯定的な意見
 - ・早急に合併を前提とした協議に入って欲しい
 - ・合併も1つの手だと思ふ
 - 合併に否定的な意見
 - ・合併は望んでいない
 - ・このままで良い
 - 合併に対する不安について
 - ・合併しても人口減少・少子高齢化は変わらないので安定的な行政サービスができるのか
 - ・公共料金や変更手続きなどの負担が増加するのか

○新市の名称等について

- ・南足柄市が吸収されるのは止む無しか。できれば「南足柄」の名称は地名などで残して欲しい
- ・新市になるのであれば新しい市名にしてはどうか

○合併方式について

- ・足柄上郡・下郡を含めて合併してはどうか

2. 経費削減方法に関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41 件

○職員数等について

- ・職員の人数や給与の削減が必要

○議員数等について

- ・議員数の削減や報酬の減額が必要

○公共施設について

- ・施設の統廃合の推進や新規建設の中止

○行財政改革について

- ・行政の効率化や経費削減が必要

3. 協議会の取組の周知に関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・ 106 件

○合併等のメリット・デメリットの提示について

- ・合併した場合のメリット・デメリットを分かりやすく提示してほしい

○発信内容全般について

- ・具体的な数値やデータを提示して説明してほしい
- ・専門用語の解説がほしい
- ・先行自治体の状況を知りたい
- ・県西の他自治体が合併についてどう考えているか

○合併による効果や合併後の課題、また合併しない場合の予測について

- ・合併による効果が分からない。合併しない場合の予測も知りたい
- ・合併後の課題やそれに対する解決策を知りたい

○検討内容や経過の情報発信について

- ・検討内容や経過は、適時発信してほしい

○情報の発信方法について

- ・ネットの活用
- ・よくある疑問点を FAQ 方式で掲載してほしい

4. 2市での協議に関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140 件

○合併協議について

- ・2市以外も含めて協議したほうが良い
- ・南足柄市以外と合併協議したほうが良い

○広報活動について

- ・協議事項等を十分に周知してほしい
- ・説明会などを多く開催してほしい

- 広聴活動について
 - ・協議会ではさまざまな年代から広く意見を聞いてほしい
 - ・最後は住民投票をしてほしい
- 検討内容・方法について
 - ・デメリットも含めて総合的に判断してほしい
 - ・しっかりと時間をかけて検討してほしい
- 広域連携の推進
- その他

5. まちづくりに関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 489 件

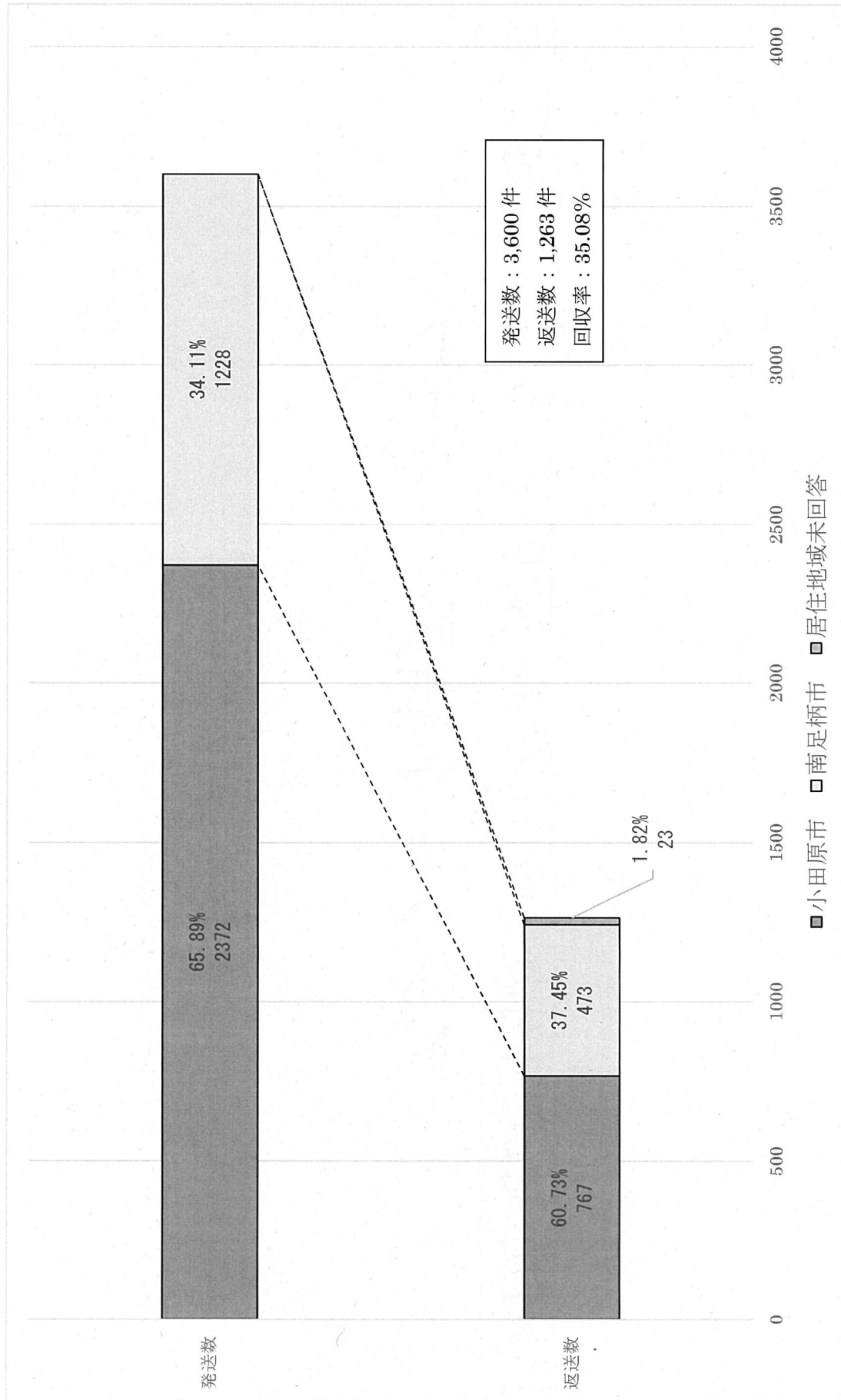
- 小田原駅周辺のまちづくりについて
- 公共施設について
- 企業誘致・産業について
- 子育てについて
- 教育について
- 生活環境について
- 自然環境について
- 行財政改革について
- 医療・福祉について
- 観光について
- 歴史・文化について
- 災害対策について
- 安心・安全について
- 中心部と周辺部のまちづくりについて
- 税金・公共料金について
- その他

6. 特になし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 件

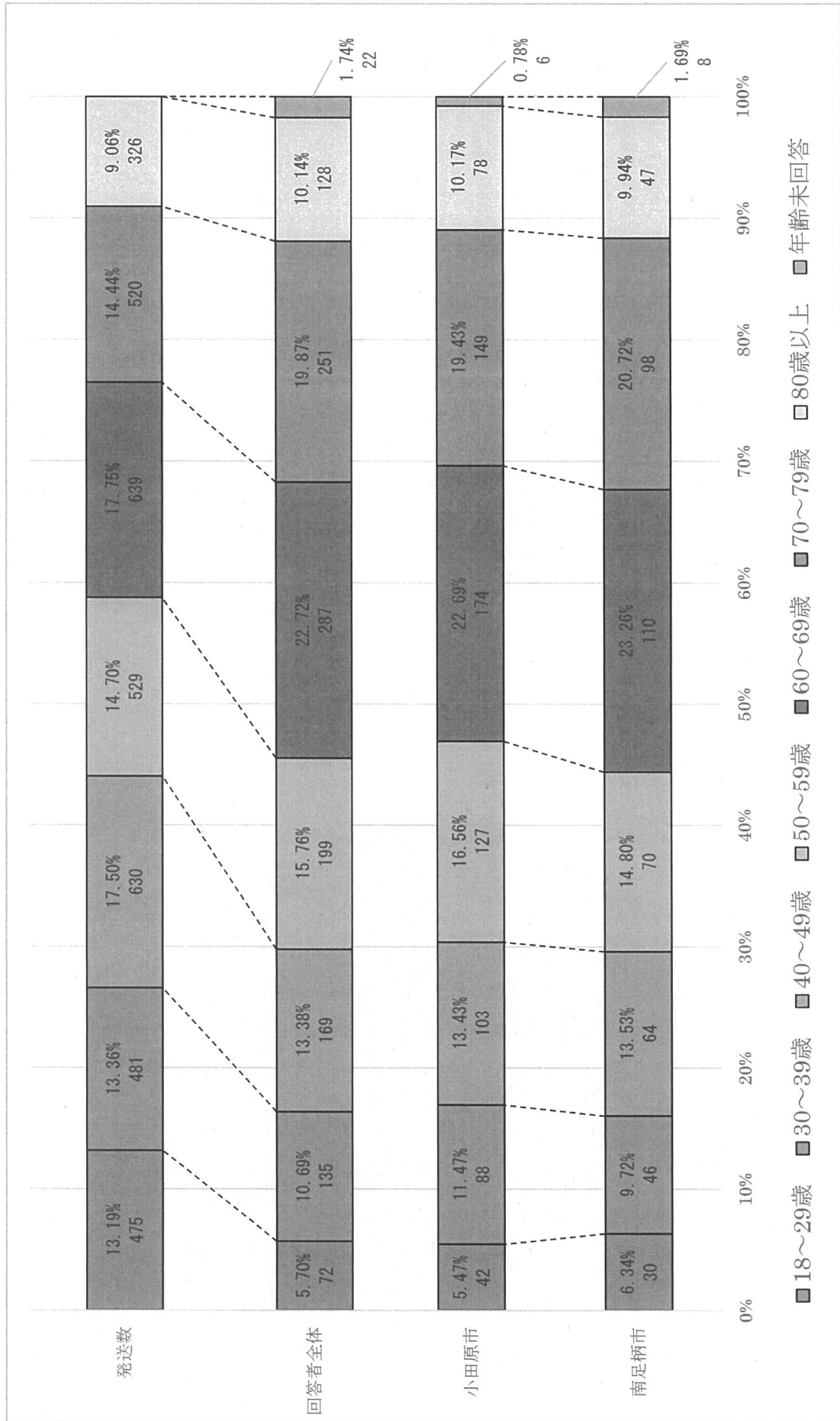
小田原市・南足柄市の将来のあり方に関する

アンケート結果 グラフ

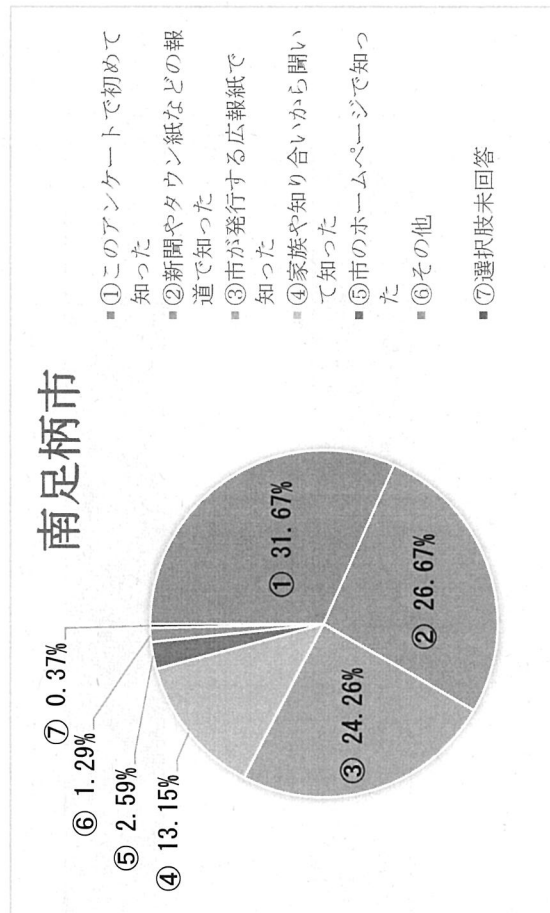
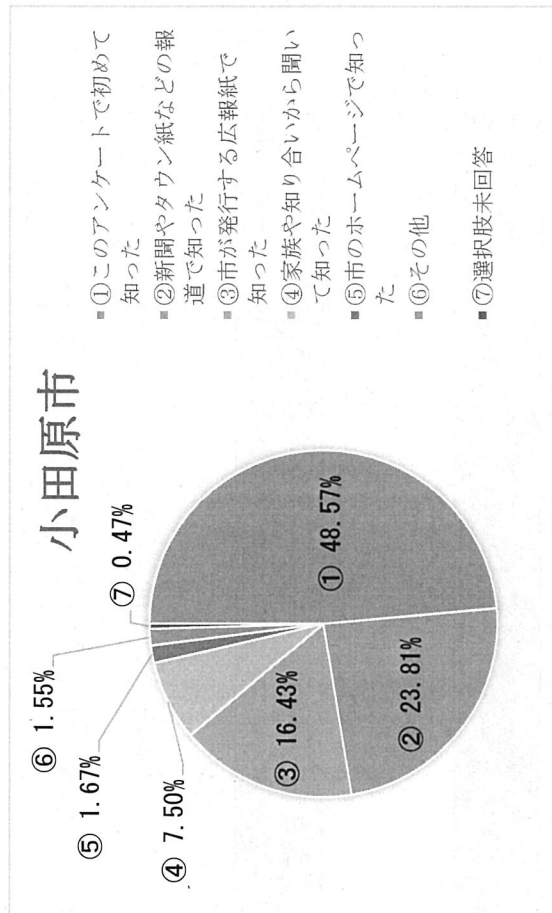
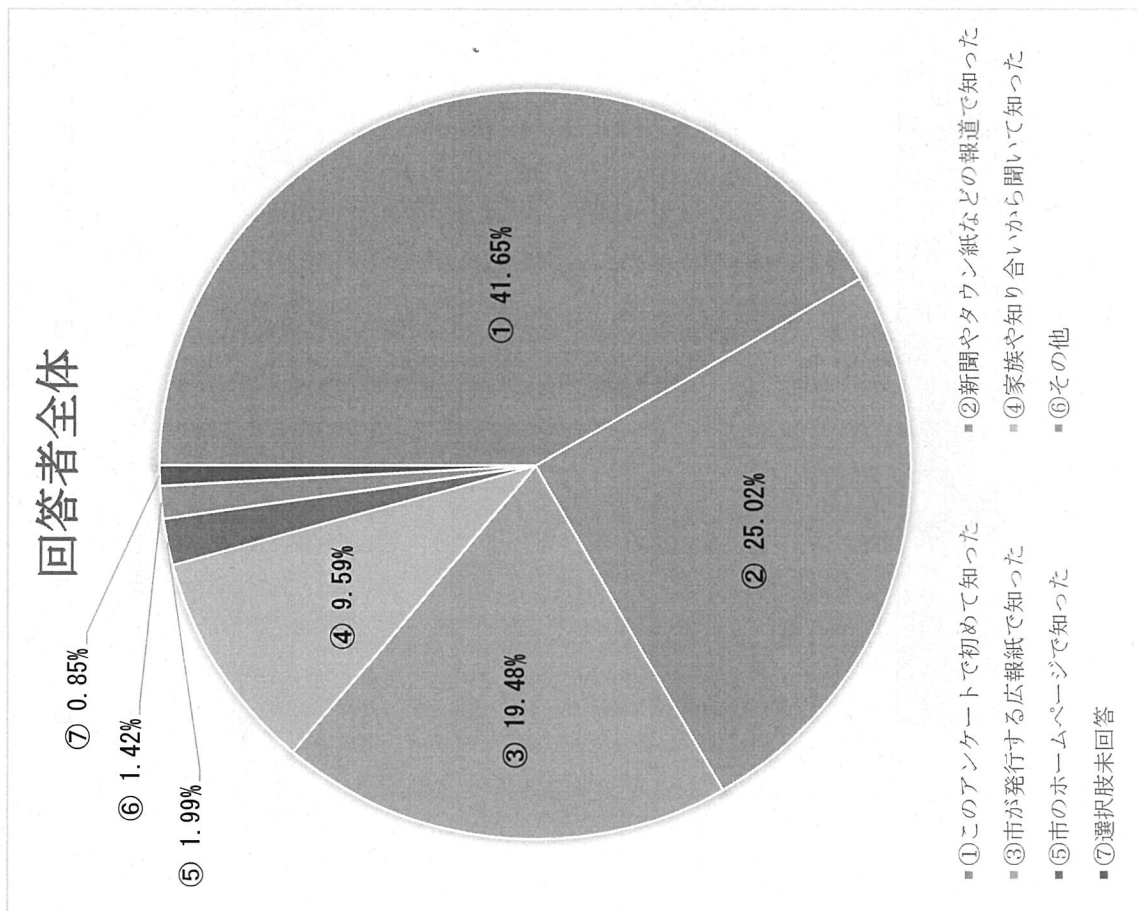
地域別の回答状況



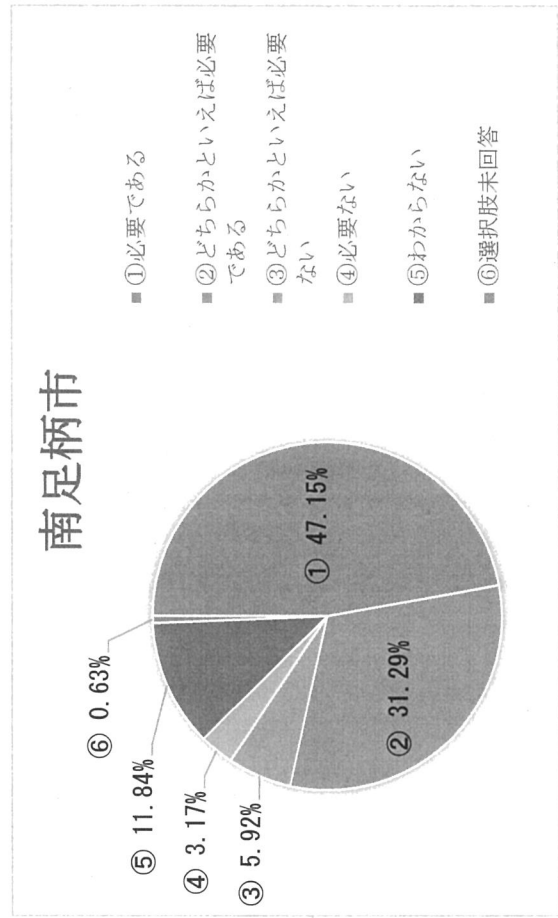
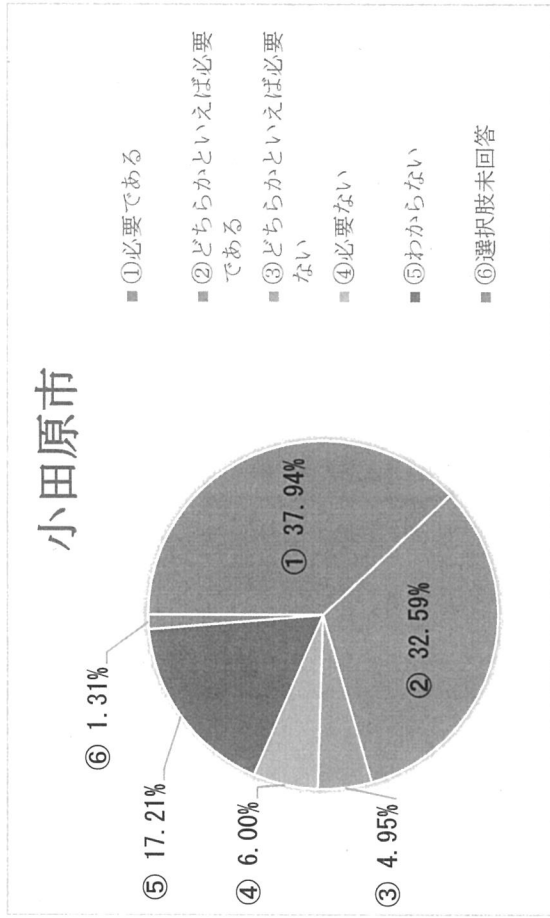
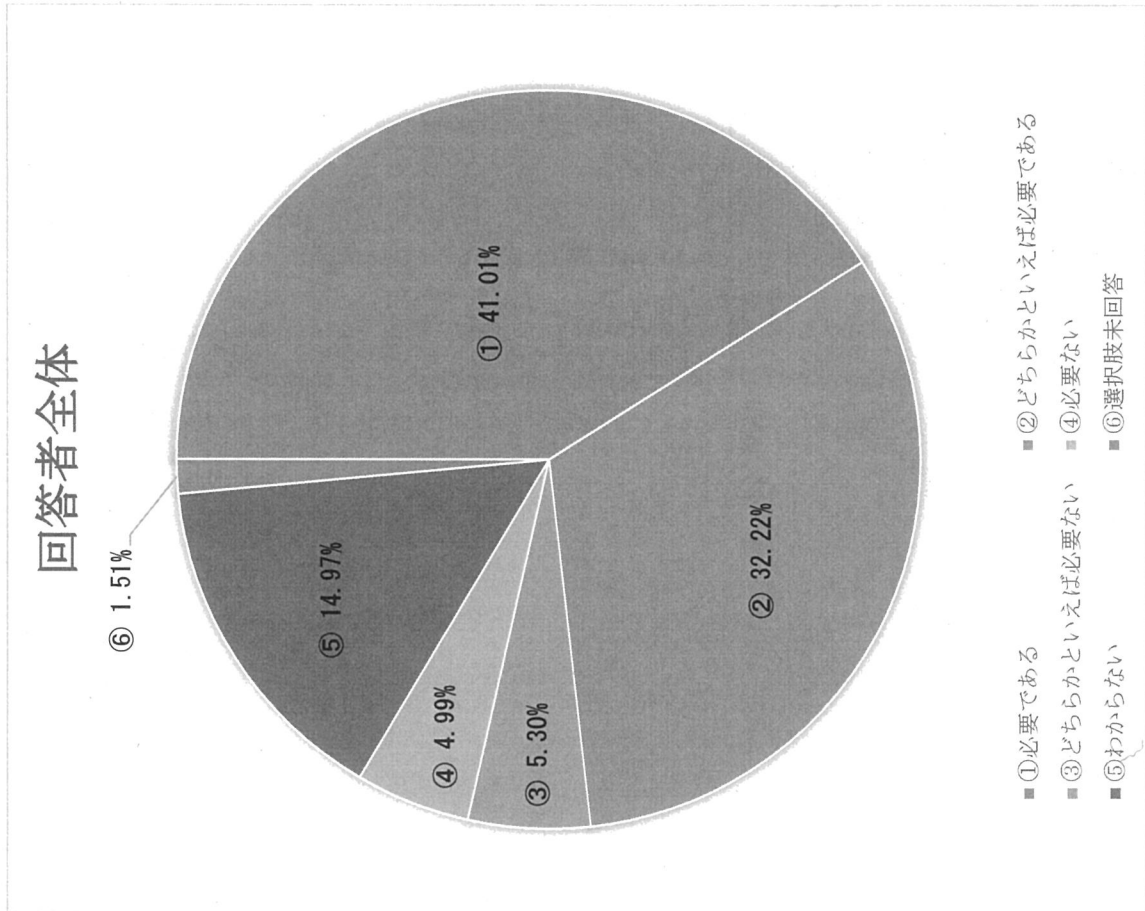
年齢別の回答状況



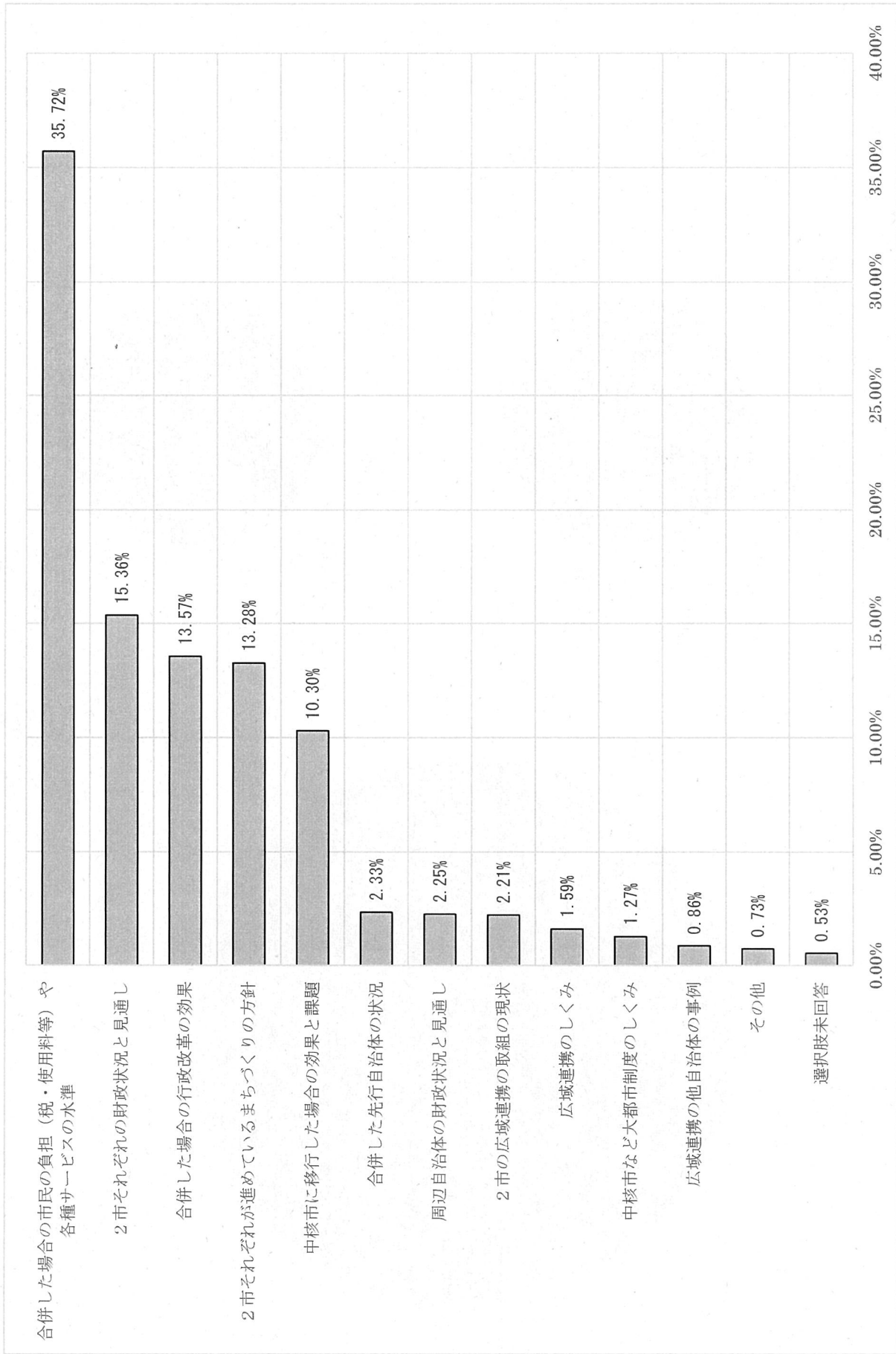
2 市協議会の設置をどのように知ったか



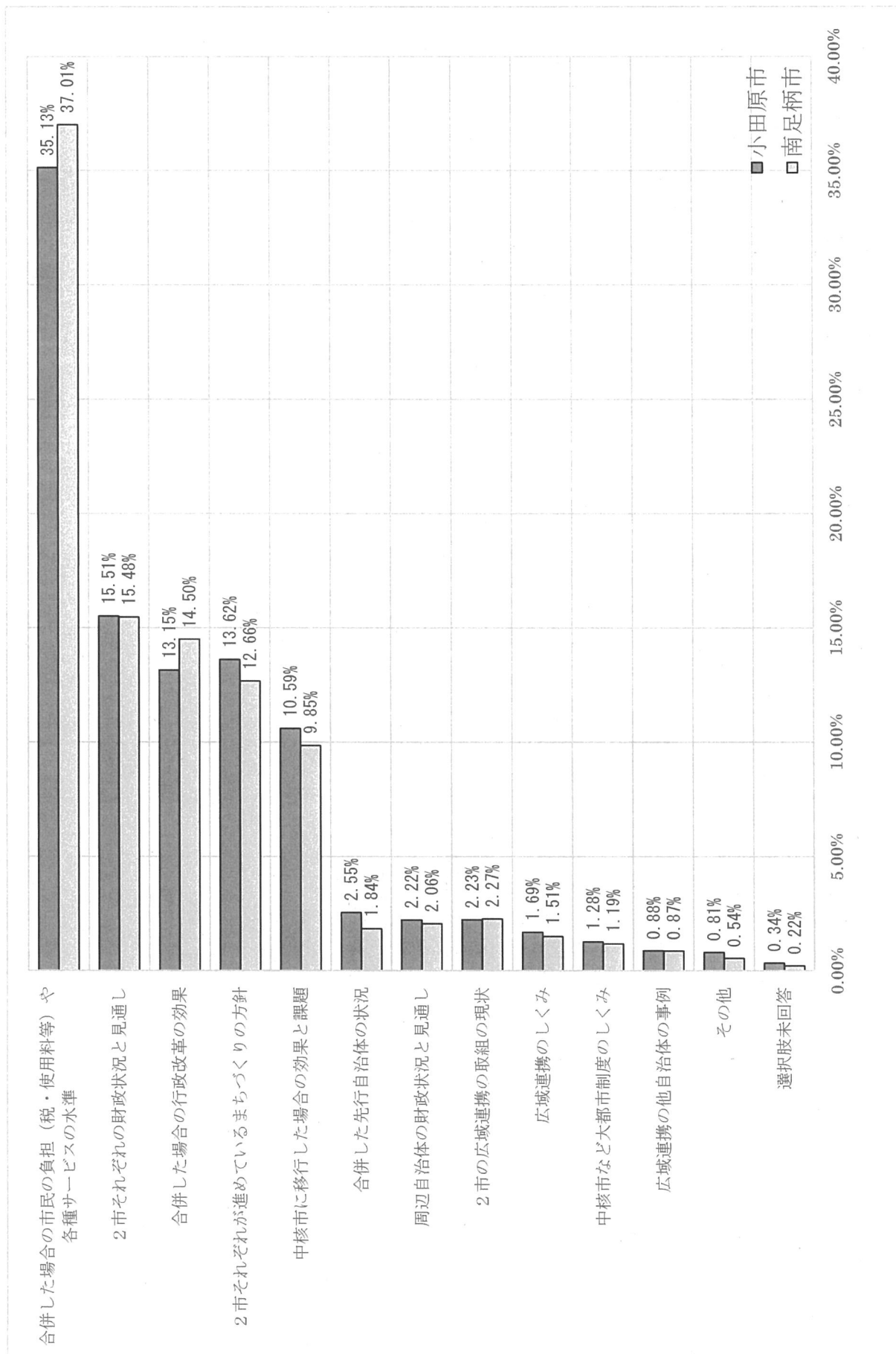
2市が協議することについてどう思いますか



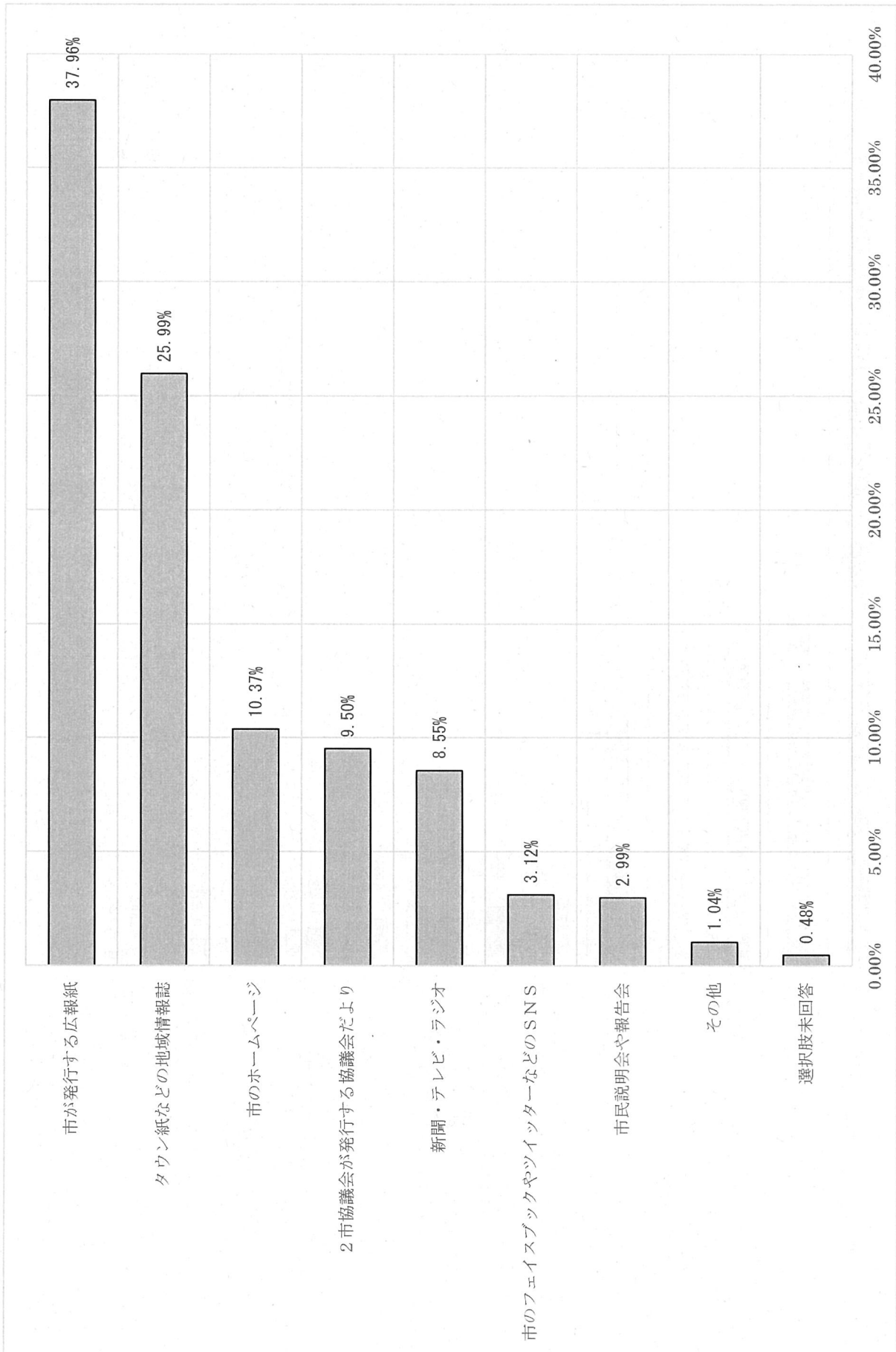
今後どのような情報が欲しいか (全件)



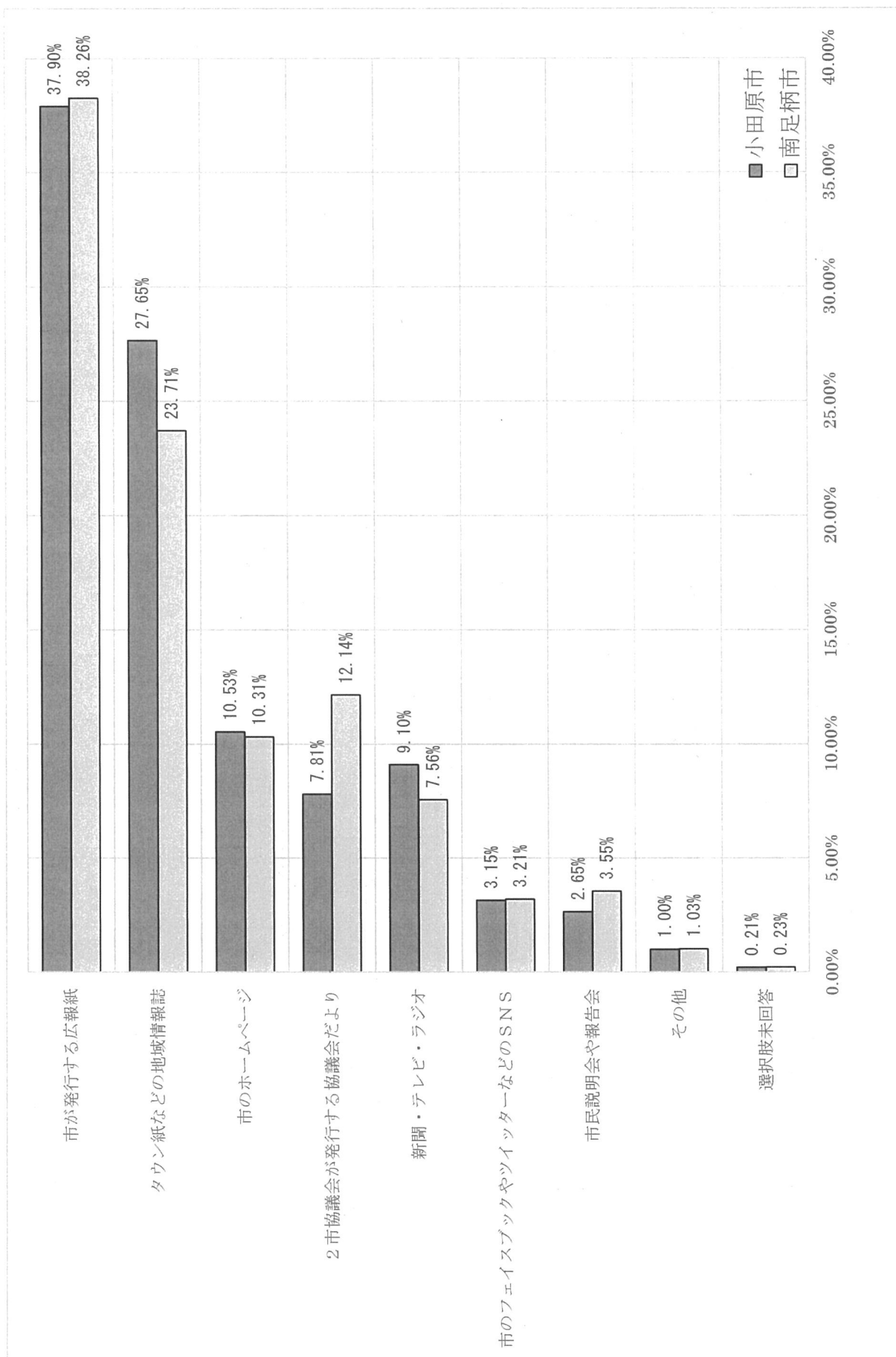
今後どのような情報が欲しいか（2市比較）



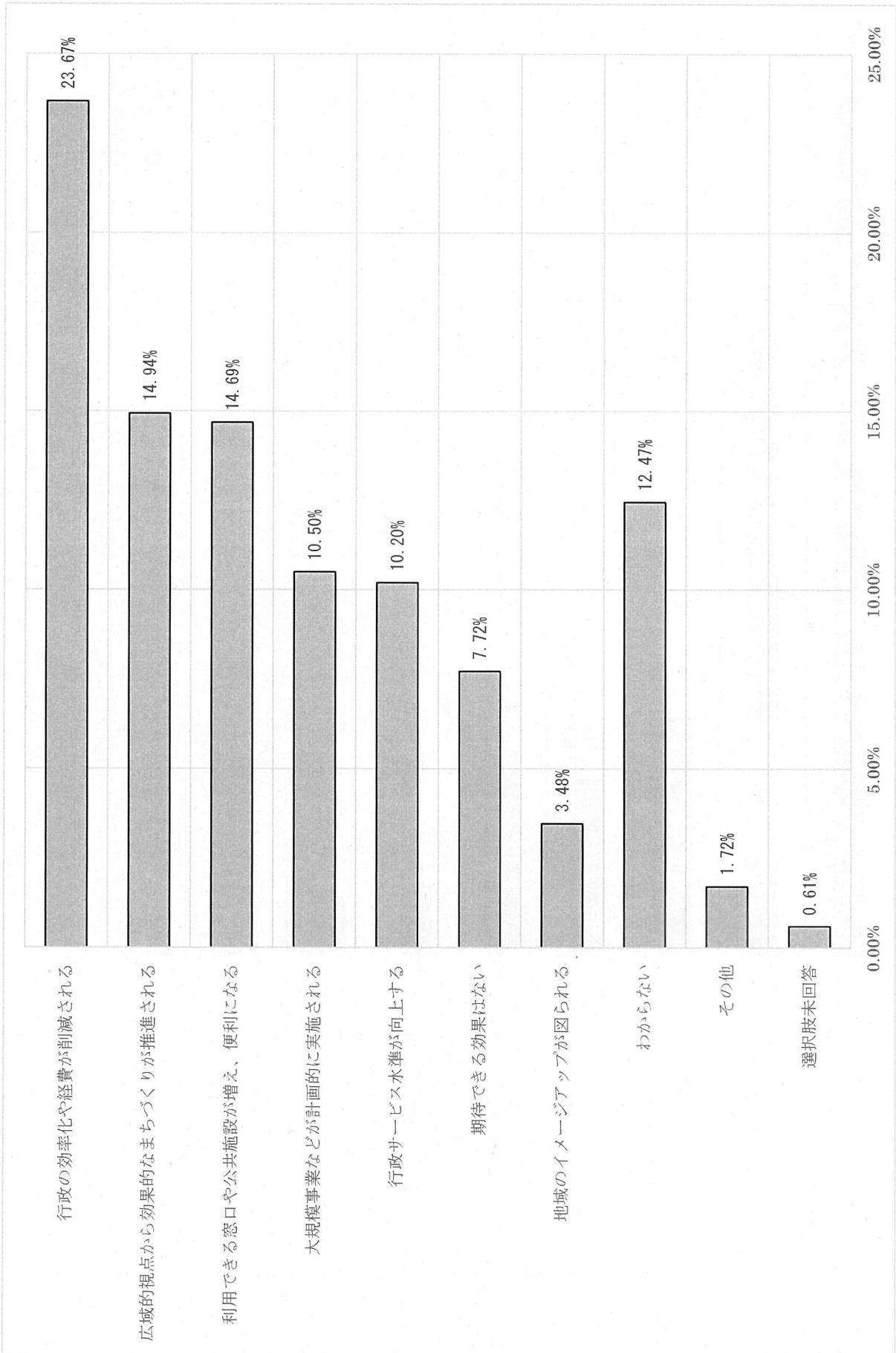
どのような方法なら情報を得やすいか (全件)



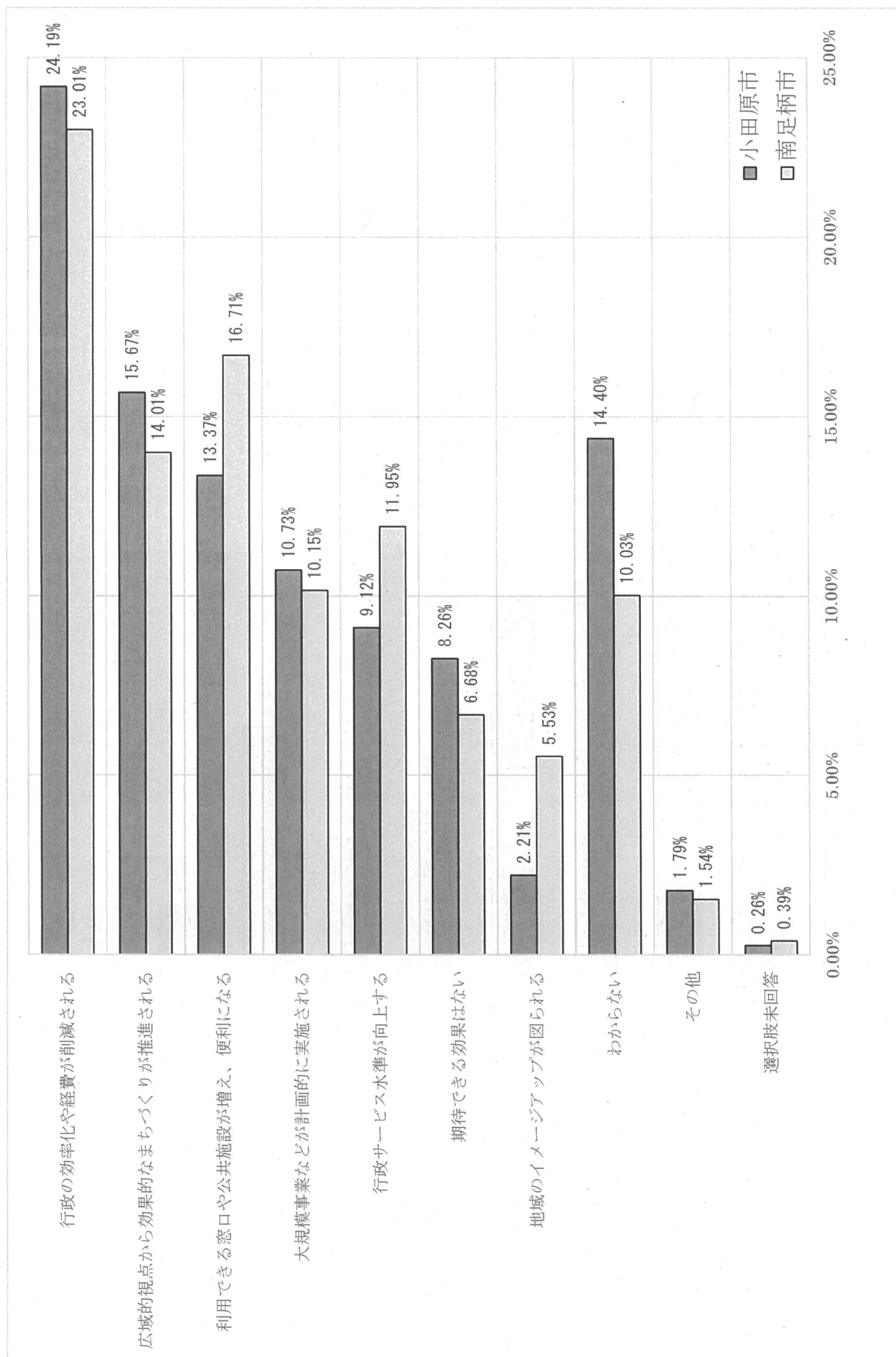
どのような方法なら情報を得やすいか（2市比較）



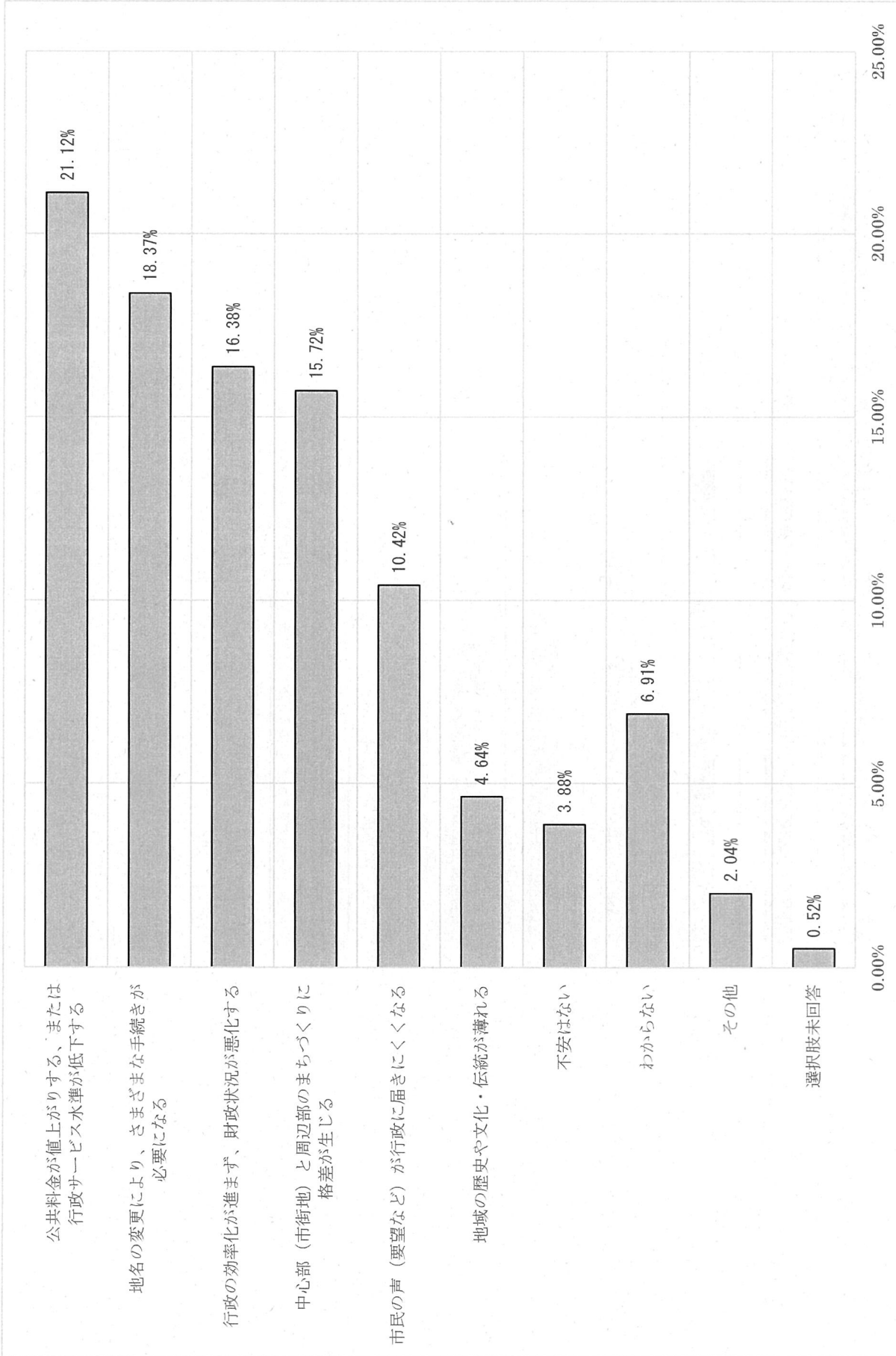
合併により期待できる効果は何だと思いますか (全件)



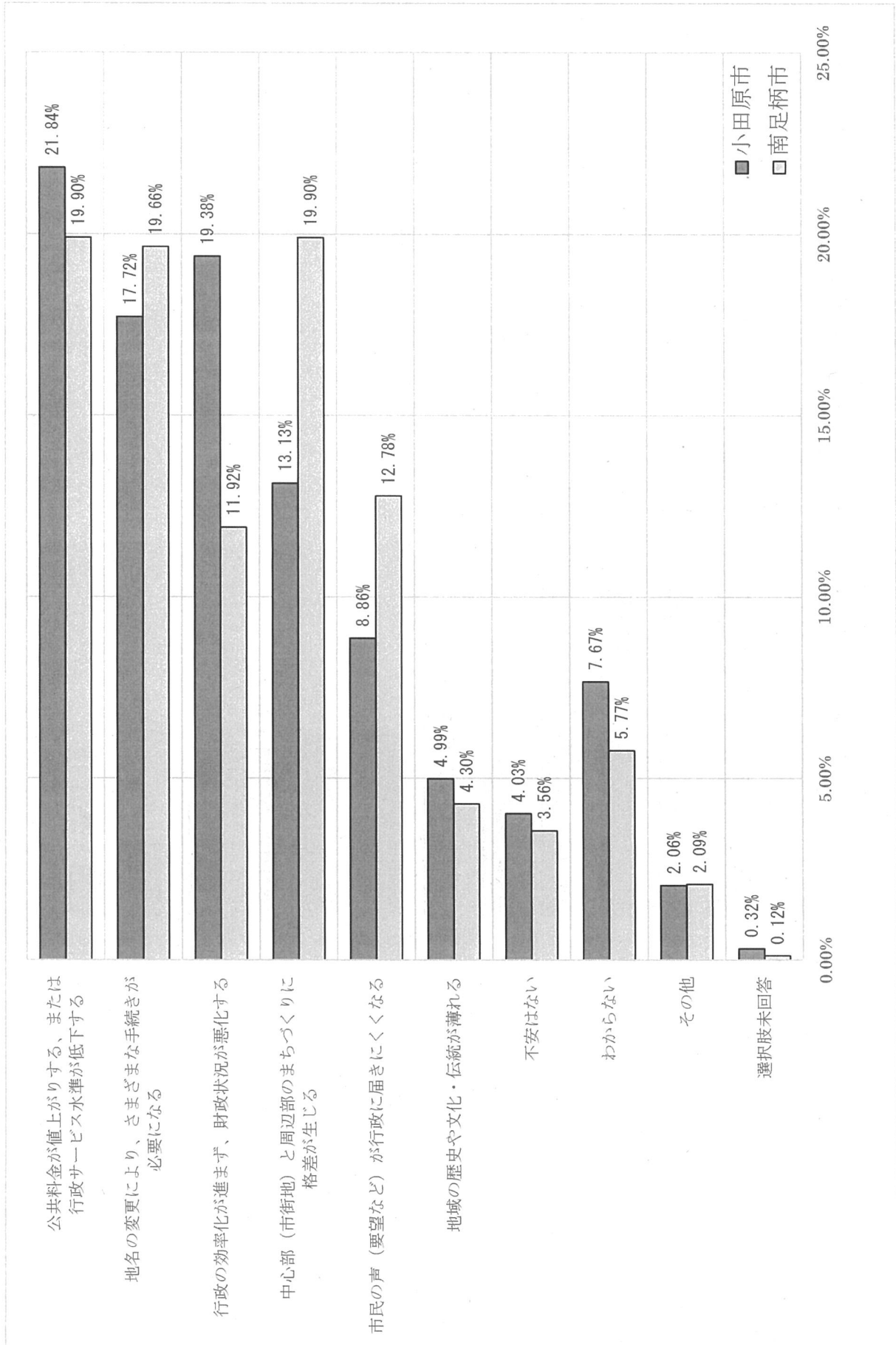
合併により期待できる効果は何だと思えますか（2市比較）



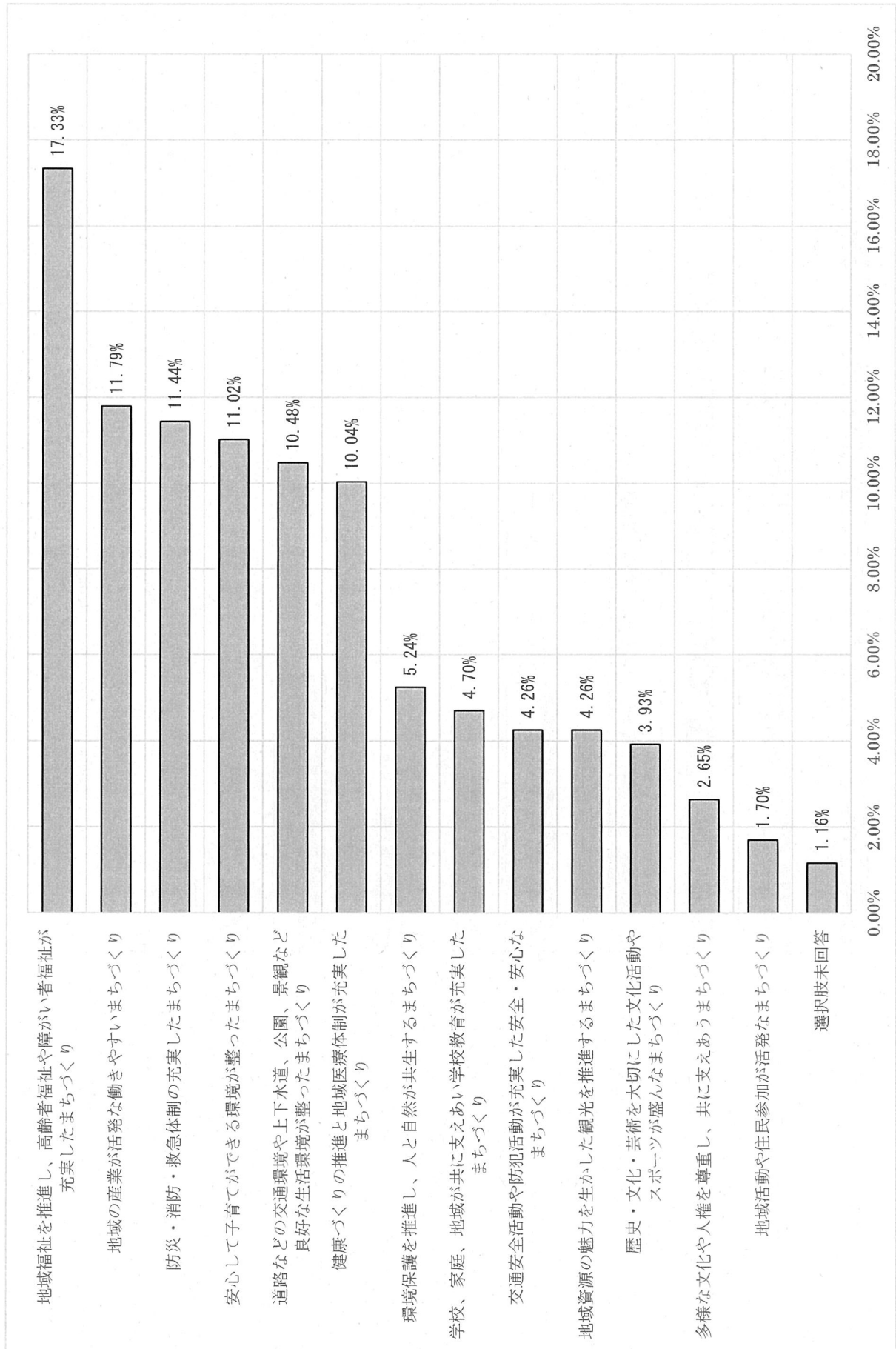
合併に対して不安に思うことは何ですか（全件）



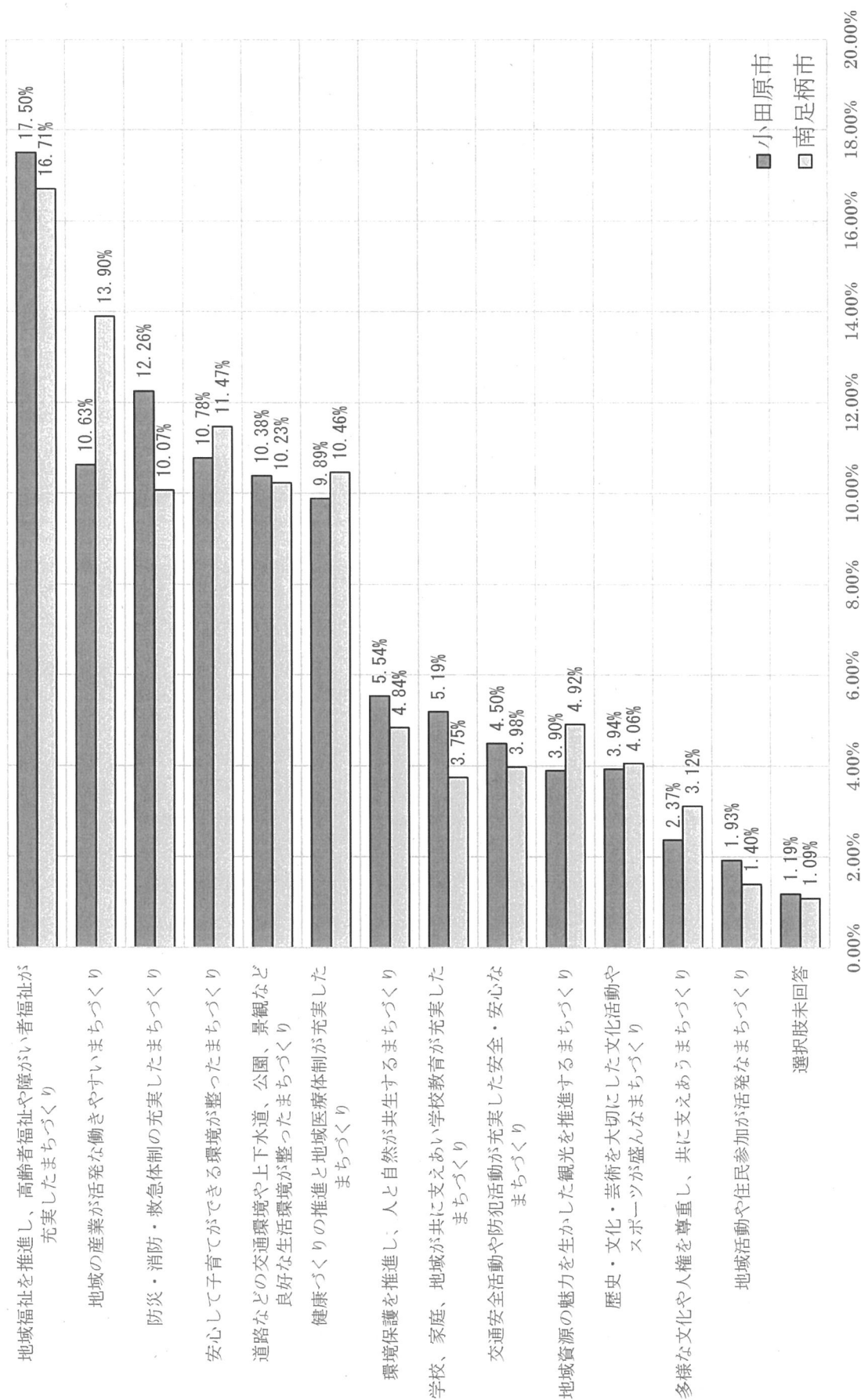
合併に対して不安に思うことは何ですか（2市比較）



どのようなまちづくりに取り組んでほしいですか (全件)



どのようなまちづくりに取り組んでほしいですか（2市比較）



安定的な行政サービスを続けるために

今こそ、2市で考える

合併・中核市・広域連携

小田原市と南足柄市（2市）は、学識経験者・両市長・市議会議員・市民・行政職員等で構成する「（仮称）県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会」を平成28年10月に設置し、約1年間、検討を行います。



（仮称）県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会設置準備会
（小田原市企画部企画政策課内）

なぜ、今なのか

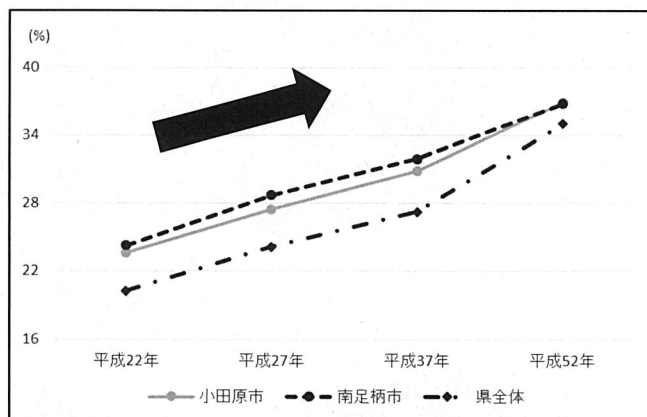
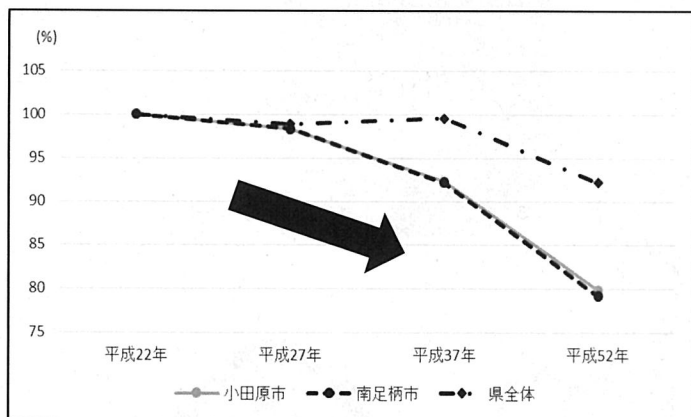
今までどおりの行政サービスの提供が難しくなります。

わが国ではすでに、人口減少や少子高齢化が本格化しており、自治体運営が厳しさを増しています。近年「消滅可能性都市」という言葉が話題となったように、それぞれの自治体は、いかにして安定的に行政サービスを提供し続けられるのかを改めて考え直す必要に迫られています。

これまで2市は、人口の増加とともに行政サービスの拡充を図ってきました。しかし、今後も人口減少、少子高齢化が急激に進んでいくという状況下において、これまでと同様の行政サービスを提供し続けていくことは難しくなっていきます。市民の皆さんが当たり前のように受けてきた行政サービスが削減され、皆さんの生活が不便になってしまうことも考えられます。

2市の人口増減率（対平成22年比）

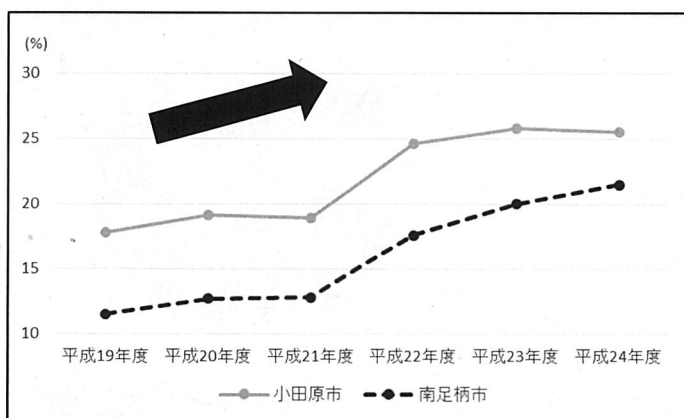
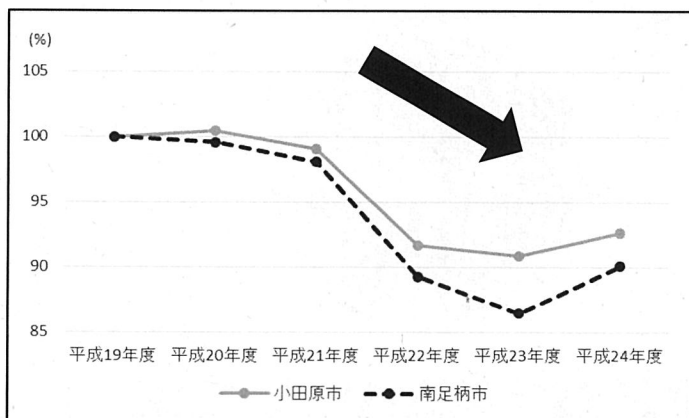
2市の高齢化率（65歳以上の割合）



※県人口統計調査及び国立社会保障・人口問題研究所による

2市の個人市民税収入の増減率
（対平成19年度比）

歳出に占める扶助費の割合



※決算より

なぜ、2市でなのか

2市は緊密な関係にあり、課題認識を共有しています。

隣接する2市は、平野や森林地域、酒匂川など地理的な一体性を有しています。また、鉄道や幹線道路で接続されていることなどにより市街地が連続して形成されているほか、2市に居住する従業・通学者のうち、半数以上の人が2市内で従業・通学しているなど、生活圏も一体化しています。

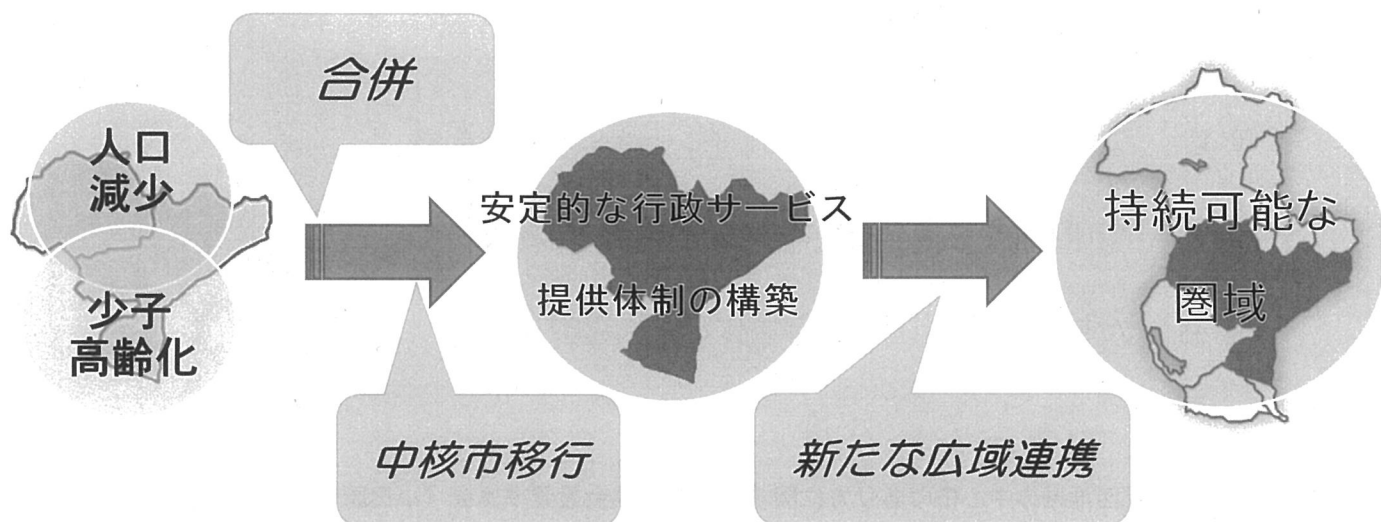
さらに2市は、これまでと同様に行政サービスを安定して提供し続けるためには、十分な「体力」と「能力」を備えた行政体制を構築することが必要であり、県西地域において人口、経済・都市機能が集中する2市の深刻な状況が、地域全体に大きく影響することについても認識を共有しています。

何を検討するのか

3つの観点から検討を実施します。

安定的な行政サービス提供体制の構築と県西地域の広域連携体制の強化によって、基礎自治体として一定の「体力」と「能力」を備えて自律的にサービスを提供し、地域の課題を自律的に解決するため、協議会では以下の項目について検討する予定です。

- 行財政基盤強化策としての**合併**の検討：県西地域の中心的都市として、一定の人口規模や財政基盤を備えた都市であり続けるため、2市の合併について検討します。
- 権能強化策としての大都市制度（**中核市（※）**）の活用^の検討：市民に最も身近な基礎自治体として、幅広くより高度な行政サービスを提供できるよう、中核市への移行を検討します。（※）中核市は、大都市制度の一つで、指定都市に次ぐ幅広い権限を有する。
- 中心市と周辺自治体との新たな**広域連携**体制の構築：県西地域の他自治体と、相互にメリットのある協力体制を検討します。





小田原市会場

日時 平成 28 年 7 月 18 日 (祝) 13 時から 15 時

場所 小田原市民会館 小ホール (小田原市本町 1-5-12)

講師 佐々木 信夫氏 (中央大学大学院教授)

中心市のあり方を考える 講演会



—今こそ考える合併・中核市・広域連携

※いずれの会場にも参加可能です (280 名・当日先着順)。

※両会場とも予約不要。時間までに直接会場へお越しください (開場 12 時 30 分)。

南足柄市会場

日時 平成 28 年 8 月 13 日 (土) 13 時から 15 時

場所 南足柄市文化会館 小ホール (南足柄市関本 415-1)

講師 大杉 覚氏 (首都大学東京大学院教授)



発行

(仮称) 県西地域の中心市のあり方に関する 2 市協議会設置準備会 (小田原市企画政策課内)

小田原市荻窪 300 番地 ☎33-1239